

X GAMUT v4.3

Color Management & Optimization

拡張インクセット搭載デバイスの運用に最適な
次世代マルチカラーマネージメントソフトウェア。

■ X GAMUT / PRESS MATCHER 機能比較一覧

■ カラーマネージメントに関する主な機能

		X GAMUT	PRESS MATCHER
フィードバック方式 自動最適化プロセスカラーマッチング	※1	●	●
スタビライザー設定（プロセスカラーマッチング時のGCR・UCR）	※1	●	●
ワイドガモットプロファイル作成（プロセスカラーの最大色域保持）	※1	●	●
CxFデータ入力 & CxF Cloud サーバー接続（特色情報データの取込み）	※2	●	●
デバイスリンクプロファイル書出し（プロセスカラーの最適化）	※3	▲	
最適化済 ICCデバイスプロファイル書出し（プロセスカラーの最適化）	※3	▲	
メディア相対カラーマッチング機能（紙色を指定した相対的色変換）	※1	●	●
インクセーバー スタンダード機能（GCR・UCRによるインキ削減）	※1	●	▲
インクセーバー プレミアム機能（カラーマッチング+インキ削減）	※1	●	▲
クオリティコントロール連動（CERTIFIED対応）	※4	▲	
AFP / IPDS データ対応（DLPによるバリエابل可変データ対応）	※1 ※3	▲	
フィードバック方式 自動最適化スポットカラーマッチング	※1	●	●
マルチカラープロファイル作成（プロセスカラー+N color）		●	
マルチカラープロファイル作成用テストチャート生成機能		●	
マルチカラープロファイルによる色分解（RGB から N color）		●	
マルチカラープロファイルによる色分解（SpotColor から N color）		●	
マルチカラープロファイル対応キュー作成（PDF to PDF）		●	
ファイル書出しキュー作成（PDF / PS / EPS / TIFF etc.）	※5	●	▲
PDF入力 PDF書出しキュー作成（PDF to PDF）		●	●
BigTIFF & PSDインポート / エクスポート機能（BigTIFF / PSD / PSB）		▲	

●:標準搭載機能 ▲:オプション機能

※1 プロセスカラーのカラーマッチング時のみ対応可能

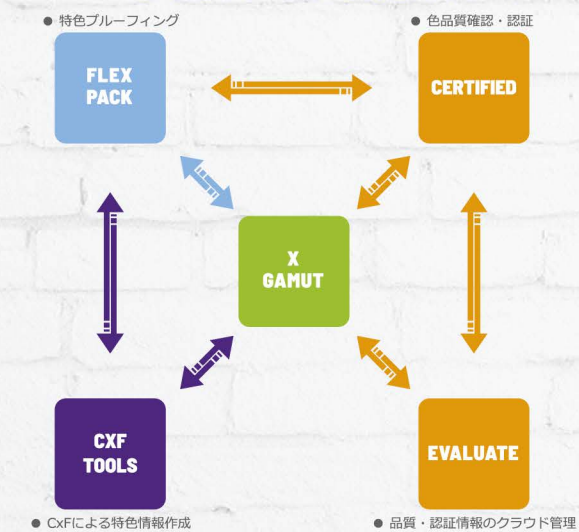
※2 別途「CXF TOOLS」のライセンスが必要

※3 1年間サブスクリプション契約オプション

※4 別途「CERTIFIED」のライセンスが必要

※5 ANY to PDFキュー作成には、別途「Acrobat® Distiller DC」が必要（PDF to PDFキューの場合には不要）

■ X GAMUTをより効果的に活用する関連ソフトウェア



■ 推奨システム環境 X GAMUT

CPU	Intel® Core i7 第9世代以降
メモリ	16GB 以上のRAM
メインストレージ	500GB 以上の空き領域（SSD推奨）
通信ポート	USBポート x 1（ドングル接続用）
ネットワーク	100mbps
光学ストレージ	DVDマルチドライブ（ソフトウェアインストール用）
対応OS	Microsoft® Windows® 10 Pro Microsoft® Windows® 11 Pro Microsoft® Windows® Server 2019 / 2022 ※ServerOSの場合、各社プリンタドライバーの 対応状況を確認する必要があります。
関連プログラム	Microsoft® Edge 最新バージョン

■ 対応測定器

x-rite 社	i1Pro2/3, i1iO2/3, i1iSiS/iSiS2, Ci6x, eXact, etc.
Barbieri 社	Spectro Swing, LFP SP3
Konicaminolta 社	FD-7, MYIRO-9, ColorScout A+（XYテーブル）

※ カタログに記載された内容は、技術改善等により予告なく変更する場合がございますがご了承ください。
※ 会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。
※ Microsoft®, Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※ Widows®の正式名称は Microsoft Windows Operation Systemです。
※ Apple, Mac OS Xは、Apple Computer Inc.の登録商標または商標です。
※ 本製品に関するお問い合わせ及びサポート、カタログ記載については、国内限定とさせていただきます。

CGS Japan 株式会社 〒104-0033 東京都中央区新川1-20-1 新川三和ビル7階
Tel:03-6240-3681 Fax:03-6240-3682 Email:info@cgsjapan.com Web:www.cgsjapan.com

※ このカタログ情報は2023年12月現在のものです。



X GAMUT

X GAMUT

多色分解をもっと簡単に！

拡張インクセット《CMYK+N Color》の運用環境を最適化する
次世代マルチカラーマネージメントソフトウェア

拡張インクセットを搭載した印刷機をもっと簡単に有効活用するために

RGB やスポットカラーを多用した高彩度なデータを再現するため、拡張インクセット（CMYK + N Color）が注目されています。

拡張インクセットを搭載したデジタル / コンベンショナル印刷機を有効に活用するために特に重要な事は、デバイスの色再現特性を知り、最適な色分解を行えるカラーマネージメントツールを使用することです。

「X GAMUT」は拡張インクセットを使用した印刷に最適な多色分解を自動で行う次世代の CMS ツールです。

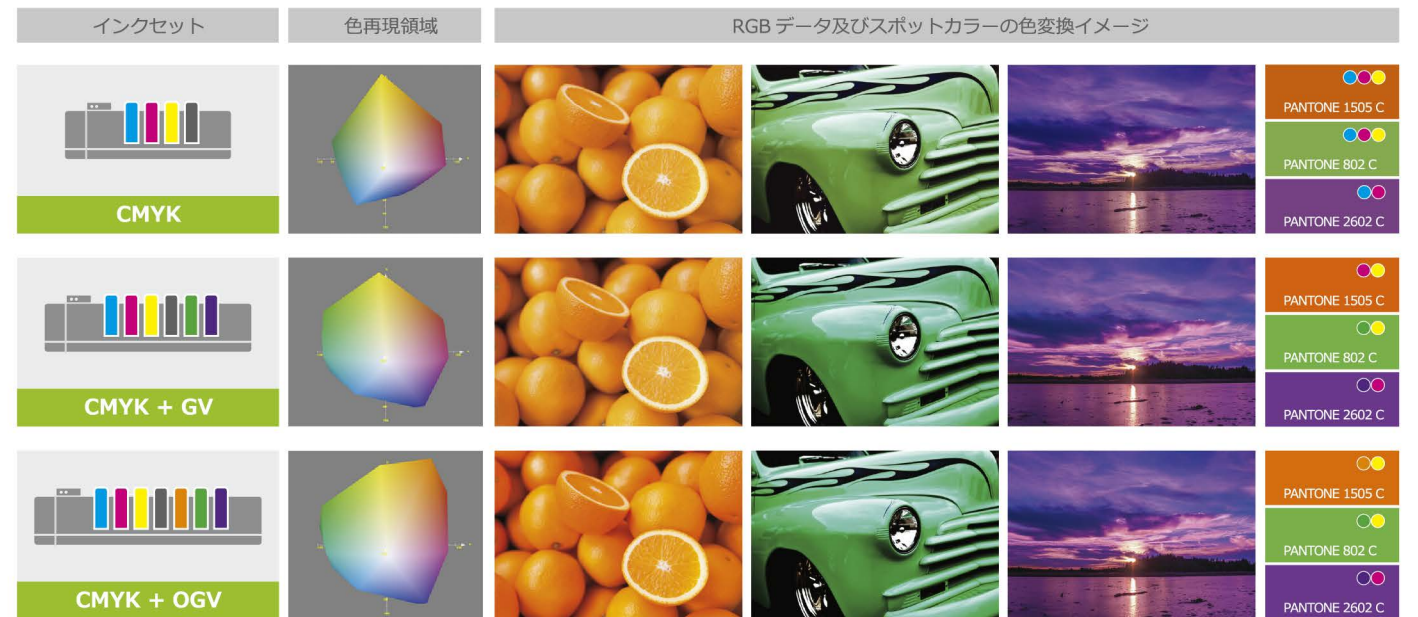
X GAMUT の2つの役割

- スポットカラーを拡張インクセット（CMYK + N Color）でシミュレーション再現
スポットカラーは商品をアピールするうえで非常に重要ですが、ランニングコストの高騰や印刷時のカラーコントロールの難しさがデメリットになります。再現色域の広い拡張インクセットを使用してスポットカラーをシミュレーションできれば、ワークフローのスピードアップやインキ入替えに伴うコストも削減可能です。
- 高彩度の RGB / CMYK データを拡張インクセット（CMYK + N Color）にあわせて最適化
拡張インクセットの広い再現色域に合わせて適切に変換することで、彩度の高い画像データでも、彩度の低下を大きく抑えた印刷が可能になります。高級美術印刷やフォトブックの製作においてクライアントが抱く高彩度画像のイメージを再現する場合にとっても効果的です。

X GAMUT のワークフローイメージ

「X GAMUT」の PDF to PDF カラー変換キューにオリジナルの PDF データをアップロードすると、設定されたソースプロファイル（RGB / CMYK）から拡張インクセット（CMYK + N Color）のマルチカラープロファイルに最適化された色分解が行われます。

パッケージやラベル製作に使用されるグラビア・フレクソ・オフセット・デジタル印刷はもちろん、サインディスプレイ・テキスタイル・壁紙などで使用される大判のインクジェット出力などでも運用が可能です。



● X GAMUT が行うマルチカラー色変換の特徴

RGB の画像データや彩度の高いスポットカラーを固定インクセットで再現する場合には、上図のような色再現特性の違いにより、仕上がりは大きく異なります。最新のデジタル印刷機にはプロセスカラー以外にオレンジ・グリーン・バイオレット・レッド等が追加された機種が増えており、これらの広い色再現領域を有効的に活用するツールとして、「X GAMUT」は開発されました。

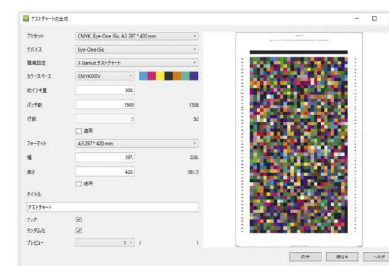
「X GAMUT」に搭載された新しい色変換エンジンは、独自のアルゴリズムでマルチカラープロファイル変換に最適化されています。

このため一般的なマルチカラープロファイル変換にみられるような、総インク量やカラーチャンネル使用数の増加、トーンジャンプや階調反転などのディテール劣化は発生しません。

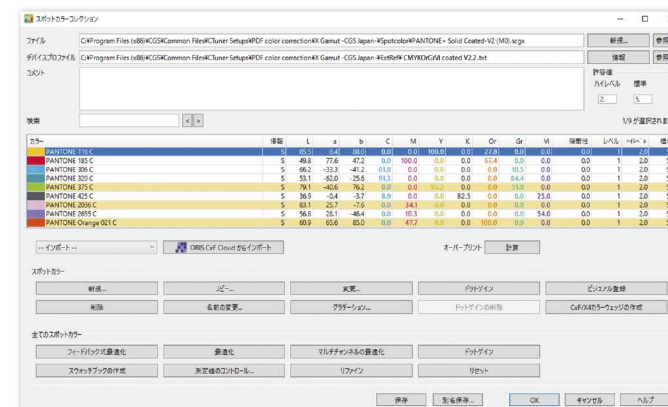
特にスポットカラー変換には使用するカラーチャンネルを最大3色に制限し、彩度の保持と色差 (ΔE) の最小化を両立するよう計算されます。

● X GAMUT のマルチカラープロファイル作成と色変換精度の評価

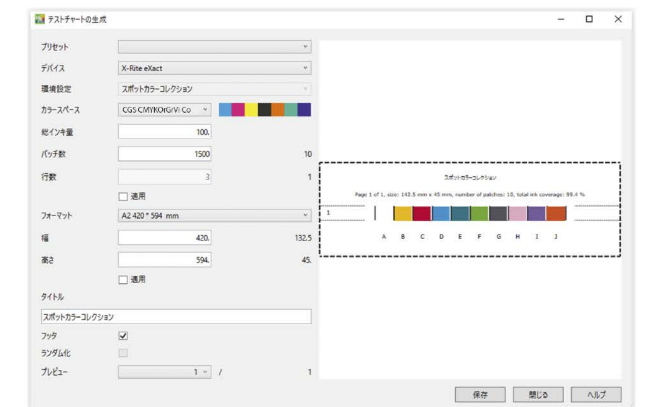
- I. 使用する印刷機の拡張インクセットに基づきプロファイル作成用カラーチャートを生成します。
- II. 作成されたカラーチャートを対象となるカラーデバイスの標準コンディションで印刷をします。
- III. 印刷されたマルチカラーチャートを測定・計算を行いマルチカラープロファイルを生成します。
- IV. 再現するスポットカラーのテストチャートを X GAMUT が生成後に再度印刷をします。
- V. このテストチャートの測定を行い色変換精度の詳細なスポットカラーレポートを生成します。
- VI. この結果に基づき使用するスポットカラーテーブルの微調整を行い色変換精度を向上させます。
- VII. オリジナルチャートを作成しスポットカラーテーブルの最適化やグラデーション補正も可能です。



マルチカラープロファイル作成チャートの生成



マルチカラープロファイルで分解されたスポットカラーテーブル



マルチカラープロファイルで分解されたスポットカラーの評価・検証